とらい&GROW



2018年4月号

No.361 2018/4/25 発行



サクラは葉桜へ、いまチューリップが満開です。赤、青、黄色…みごとな色合いです。そして藤棚のフジ、やがて高貴な紫色に染まります。 そして次はアジサイです。ひっきりなしに次から次へと私たちに語り掛けてくれます。

「あなた墓参りしてます?」

ある勉強会での講師の問いかけです。

その高名な公認会計士でもある講師は、その依頼先の酒屋さん(業績悪化をたどる経営状態)の戸籍を遡って探ります。計数による経営指導はとりあえずしません。

もっぱら過去の戸籍から家系図を絵にかき それぞれの代の知っている限りの様子を聞き出 します。善行、悪行も、不幸な出来事も…。

出し尽くしたところで今の状態が起こるべくして起きている。

不思議ですがその因果関係が説明できるので す。 宗教的ですが宗教とは違います。 先生の研究と経験からの結論です。

「墓参りをして下さい。」、そして「先祖に感謝し先祖と繋がってください。」、それだけです。 その酒屋さん、「先生がそれほど言うなら…。」 と墓参りを始めました。

数年が経ち経営的な危機を脱しました。家族 も仲良く特に夫婦喧嘩はピタリと無くなったそ うです。そうなればもう時間の問題。開店当時 の明るさと元気が戻り、店の空気を変えました。 これは本当の話です。

(この公認会計士、書籍も出しておられます。 問い合わせは宇久田会計まで)



墓参りはご褒美を頂ける?

【社会保険・労働保険関連情報】

平成30年4月からの労働社会保険関連の改正事項について

多くの企業・組織が新年度を迎えるこの 4 月から労働社会保険関連もいくつか改正がありますので、事業主のみなさまに関連するものを中心に、以下にお知らせいたします。

1. 労災保険料率の改定 (事業主に影響あり)

各業種の過去3年間の災害発生状況等を考慮し毎年改定されますが、この4月からは3業種が引上げ、20業種が引下げとなります。また、第二種(一人親方等)特別加入保険料率や労務費率も一部改定となっております。詳細は労働局から事業主へ5月頃に送られてくる労働保険年度更新書類でもご確認いただけます。

※雇用保険料率については事業主負担・労働者負担とも平成30年度は変更ありません。

2. 障害者雇用義務の対象追加、法定雇用率の引上げ(事業主に影響あり)

従来、原則として従業員 50 人(週所定労働時間 20 時間以上 30 時間未満の短時間労働者は 0.5 人として換算。 以下同じ)以上の民間企業は、従業員数に法定雇用率を乗じた人数の障害者を雇用する義務がありますが、この 4 月 より精神障害者が加わることに伴い、法定雇用率が 2.0%⇒2.2%となります。

したがってこの 4 月から <u>45.5 人以上雇用する民間企業は障害者を雇用する</u> 義務が生じることになります。



3. 健康保険料率の改定(事業主と協会けんぽ被保険者に影響あり)

3 月分からの改定ですが通常翌月徴収のため、4 月支給給与で徴収される健康保険料率から実際に改定されます。都 道府県ごとの医療費の状況に応じ毎年見直されており、今回東京都は 0.01%引下げ **9.90%** (労使合計、以下同じ) となりましたが、神奈川県は据置き **9.93%**のままとなります。詳細は協会けんぽ Web サイトでご覧いただけます。 (「健康保険料」で Web 検索してみてください)

4. 介護保険料率の改定 (事業主と協会けんぽ等 40 歳~64 歳被保険者に影響あり)

こちらも健康保険料と同じ時期から改定されます。こちらは全国一律、0.08%引下げ1.57%(労使合計)となります。





従来、政府の子育て支援策に充てる費用として、厚生年金適用事業所の事業主が負担している 拠出金(※)について、先月 30 日の参院本会議で拠出金率の上限を0.25%⇒0.45%に引上げる法案が可決されました。これにより平成 30 年度拠出金率は0.06%引上げ 0.29%となります。

(※)各被保険者の厚生年金標準報酬月額および標準賞与額×拠出金率の合計額

八幡 祐輔 (特定社会保険労務士)

《お客様紹介》

株式会社タフ・ジャパン



東日本大震災からちょうど丸7年、今年3月11日に一冊の小冊子が刊行されました。



- 1. なぜ「防災」に「道徳」が必要なのか
- 2. 「減災コミュニティ」こそ最大の備え
- 3. 消防活動の実際
- 4. 愛の「見える化」で防災アクションを
- 5. 災害心理と闘うために
- 6. 実践! 防災道徳教育
- 7. 有事の際に後悔しないために



防災に最も必要なもの――それは道徳心! 思いやりの心や譲り合い の心を持つ人は、災害時にも「人間としての強さ」を発揮する。 元消防士であり、消防学校での「消防体育訓練」をはじめ企業・地域・ 学校等での防災教育や危機管理研修を手がける「防災のプロ」が語る 災害時の生存率を1パーセントでも上げるための「備え」とは。

著者は、幣事務所の関与先である株式会社タフ・ジャパン代表取締役の鎌田修広さんです。

鎌田さんは、以前は公務員として消防学校の体育教官などを務めておられましたが、災害に強い人づくり・まちづ くりをして日本を強くしたい!との熱い思いから官民を超えた活動を目指して起業を決意。公務員の職を辞して 起業準備を進めている最中にまさかの東日本大震災が発生!運命に導かれるように㈱タフ・ジャパンを設立されま した。(http://tough-japan.com/)

(株)タフ・ジャパンの主な事業内容は、全国の消防職員の訓練教育のほか、企業等での人材育成研修などですが、 鎌田さんは、日本全体を一つの大家族としてとらえて、強い心の絆で結ばれた社会"タフ・ジャパン"を本気で実現 するべく、様々なイベントを企画遂行されています。

当冊子はそんな鎌田さんの熱い思いがギュッと凝縮された―冊です。 幣事務所にて取り扱い しております(1 冊 200 円。 書店販売はしておりません)。 お気軽にご連絡ください。

さわやか土曜塾のご案内

今月の格言「自ら苦労してこれを人に頒(わか)つ」

努力をせずに人任せにしてしまう、ということはありませんか?率先して行なったとしてもその成果を自分だけ のものにしていませんか?この格言は、努力することの大切さと合わせ、その結果として得られるものを社会に還 元させていくことの尊さを教えてくれています。社会に還元することによって巡り巡ってまた自分にとって有意義 な結果をもたらしてくれるのでしょうね。

さわやか土曜塾は、字久田会計事務所主催の公開セミナーです。どなたでもご参加いただけます。 皆様のご参加をお待ちしております。

** 2018年5月のさわやか土曜塾 **

日時:2018年5月12日(十)10:00~11:30

場所 : 辻堂市民図書館 2階会議室 (藤沢市辻堂 2-15-8)

会費 : 500 円 詳細は、志村(智江)・野村まで



毎週火曜は朝塾の日!

火曜日の朝始業前に、事務所員が持ち回りでプレゼンを行なっています。

クラウド会計ソフトについて

第651回朝塾より 担当:松下 洋平

会計ソフトには大きく分けると2つの種類が存在します。「インストール型」と「クラウド型」です。

「インストール型」は、作業をするパソコン1台ごとにソフトを入れて、原則その端末でのみ記帳業務を 行います。ネット環境が不要で、かつ動作がスピーディなものが多いことが特徴です。

一方の「クラウド型」は、インターネット環境さえあれば、どのパソコンからでも自社のデータを呼び出 して記帳業務を行えます。データ消失リスクが低く、場所や端末を問わずに業務できる点が特徴です。

会計ソフトに関わらず、ここ数年で公私ともに急激にクラウド化が進んだように感じます。

弊所では会計業務だけでなく、所内業務や顧客管理等でも、クラウドサービスの活用に取り組んでいます。 個人的には映画のレンタルや、写真データのバックアップをクラウドサービスに任せることが増えました。 従来の方法とクラウドサービスを比較すると、両者にそれぞれメリット・デメリットがあります。

ただ昨今の働き方改革の流れを見ていると、場所や端末を選ばずに作業ができる点は、まずクラウドサービスの大きなメリットと考えて良いように思います。

ちなみに弊所でも、様々なクラウドサービスのご紹介が可能です。

(会計・人事労務・給与計算など)

興味関心がありましたら、是非お気軽にお問い合わせくださいませ。

*** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** ***



プレミアムフライデーの今?

確かプレミアムフライデーとかいうのがあったね? 今どうなってる?ほとんど忘れ去られた? 「こんな働き方改革」国民をバカにしているのでは? まるで働くな!ゆっくりおいしいもの食べて遊べ!



もちろんブラック企業は駆逐されるべきだが、ニッポンの多くの企業は勤労を誠実にとらえ、労使苦労している。労務環境もだいぶ整備されてきた。

最近の風潮はニッポンの良き文化を崩しているようだ。これではグローバル競争に太刀打ちできないのではなかろうか・・・。

*** *** *** *** *** *** *** *** *** *** ***

発行・編集 宇久田進治税理士事務所/㈱経営センターグロウ 〒251-0042 藤沢市辻堂新町 1-1-2 クロスポイント湘南 6F

TEL 0466 (36) 0627 FAX 0466 (33) 4892

URL : http://www.ukuta.net/

** 編集部では皆様に喜んでいただける紙面にしたいと思っております ** お読みになったご感想、お読みになりたい記事等のご意見をお聞かせくだされば幸いです。

(e-mail: seto@ukuta.net 又は上記 FAX でお願いいたします。)